



会 報

第 275 号

— 新支部長紹介 —

平成 29 年 6 月に富山県支部の支部長に就任されました、鍛治淳子先生に登場していただきました。



富山県支部長
鍛治 淳子 先生

プロフィール

昭和 37 年 3 月 富山県立砺波高校卒業

昭和 37 年 4 月 福光珠算学校 入社

昭和 62 年 4 月 全国珠算教育連盟 退会

平成 元年 鍛治珠算教室設立

平成 3 年 全国珠算学校連盟 入会

平成 29 年 6 月 富山県支部長に就任、現在に至る

<趣味> 音楽 美術鑑賞 ピアノ

<座右の銘> (好きな言葉)

教えるものは常に学べ

笑うといいこといっぱい

<抱負> ～富山県支部長就任にあたり～

支部会員の先生方と協力して行事を続けていきたいと思います。又それぞれが研修を重ねて、各教室が元気になるように集まって勉強会を開くことなども考えています。支部の発展に微力ではありますが努力して参りますので、皆様方のご指導よろしくお願い申し上げます。

新 年 の ご 挨拶



公益社団法人 全国珠算学校連盟
会 長 山 中 幸 二

新年明けましておめでとうございます。

昨年は第48回衆議院議員選挙が行われ、日頃から珠算教育の振興にご理解とご尽力頂いている多くの前議員の先生方に学校連盟の推薦状をお届けしたところですが、当連盟の名誉会長である細田先生に於かれましては、島根1区にて第9期目の当選をされました。この場をお借りして会員の先生方と共に、お祝いを申し上げたいと存じます。

さて、恒例の行事である全日本珠算技能競技大会については、昨年は会場をオリンピック記念青少年総合センターに変えて実施致しました。参加選手は一昨年より12名多い244名となりました。新しい会場のため、若干の戸惑いなどありましたが、全体としては会場へのアクセスも良く収容人数も多くなり、また経費的にも前年の7割弱で、まずは成功裡に実施できたのではないかと考えております。そのほか、集合研修会、指導者研修会などの行事も滞りなく実施されました。改めまして、会員の先生方の一方ならぬご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

珠算界にとり最重要課題である小学校における珠算教育については全珠学連、全珠連、日珠連の3団体からなる全国珠算教育団体連合会を通じ、歴代の文部科学大臣に珠算教育強化の要望書を提出するなど地道な活動を続けて参りましたが、平成32年(2020年)から実施される小学校の新学習指導要領が、昨年の3月に正式に公示されました。そろばん学習については、英語教科が必須になるなど全体のカリキュラムの中で授業時間の配分が厳しいところ、従来通り3年生・4年生で学習することが明記されました。また具体的にそろばんの特性を生かして「加法及び減法」の計算をすることや、「そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えること」など、そろばん指導に向けて記載の充実が図られております。

また、多くの関係者の方々から要望が出ておりました珠算検定に準3級を設ける件につきましては、検定委員会並びに常任理事会で検討を重ね、問題の内容や程度など概要について、昨年5月の理事会で承認され平成30年度5月検定から実施する運びとなりました。これにより、珠算検定・暗算検定とも段位から級(1級～10級)まで名実ともに体系化された切れ目のない目標となり、生徒の皆さんの珠算学習へのモチベーションも高まって、検定受験者の一層の増加を期待したいと存じます。

本年も、恒例である主要行事の充実に向けた取組みは当然の事、学校連盟の事業目的である「珠算教育の振興」を念頭に、公益社団法人としてのさらなる発展と同時に会員の先生方をサポートする諸活動に向け、全力で取り組んで参りますので、諸先生方の格別なるご指導とご鞭撻をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第9回指導者研修会 「明日の珠算を考える会2017」 紙上報告

2017年10月1日（日）恒例の第9回指導者研修会「明日の珠算を考える会2017」が、東京都文教区湯島の東京ガーデンパレスにて開催されました。北海道から九州まで全国各地から105名の珠算教育の最前線で日々活躍されている先生方が参加。

第1講では、現在、珠算関係の情報誌 月刊「サンライズ」を発行するなど珠算界の発展に貢献され、また珠算教室では180名余の有段者を抱え珠算教育の振興に活躍されている高柳先生から、「元気が一番！ただいま、有段者180名」のタイトルで珠算の指導方法、生徒への接し方など、約3時間にわたるお話の中で珠算指導における貴重なノウハウを伝授して頂きました。

第2講では、昨年に引き続き「ホームページの作成について」をテーマにITの会社を経営されている二石芳裕氏からお話をして頂きました。ITまたはAIなどますますネットを通じた珠算教室のPRが不可欠な時代で、塾のホームページ作成方法や魅力あるホームページについて語って頂きました。会員の先生方の教室をPRするホームページ開設の準備をすることが出来る貴重な情報が満載の講演となりました。

参加した先生方からは、日頃の生徒指導の際の接し方、生徒のモチベーションを如何に高めるかなど大変貴重なヒントを得られたと同時に、珠算教室のPR活動のためにホームページを立ち上げたい・・・などの声を聴くことが出来ました。今回の研修会の概要について、以下、ご報告させていただきます。

立木総務委員長の総合司会のもと、横須賀副会長の開会の言葉の後、山中会長の挨拶に続き、「明日の珠算を考える会2017」第1講がスタート。



研修会講師（二石先生・高柳先生）



研修会の様子



挨拶する山中会長



総合司会 立木総務委員長

第1講「元気が一番！～ただいま、有段者 180 名～」

講師 埼玉県 高柳 和之 先生



高柳先生

プロフィール

そろばんUSA代表

珠算人の月刊情報誌「サンライズ」を発行

東京・埼玉に5教室展開.

2002年(社)埼玉珠算教育連盟主催の埼玉県大会で

31年連続最優秀団体になる。(翌年から大会中止に)

現在、小学生日本一をはじめ有段者180名が在籍

第1講では、「元気が一番！～ただいま、有段者在籍 180 名～」と題し、高柳先生から活気ある教室運営のノウハウや生徒ケアに関する具体的な方法など講演をしていただきました。

<そろばん教室創設から現在までの足取り>

▽1948年に父・高柳健一代表が旧浦和市前地で、前地珠算塾を開塾。その後教室の老朽化に伴い1995年に建替えした際に教室名を「そろばん教室USA」と改称。23・24才の頃にアメリカ・ロサンゼルスでそろばんを教えた経験がありアメリカに心酔していた影響も有り、建物の外装にアメリカの国旗を模したりしました。近隣の塾が浦和や埼玉、関東、日本などの地名を付けており、それなら もっとスケールの大きい名称をと思い「そろばん教室USA」としました。(一説では、うらわそろばんアカデミーの略とも)

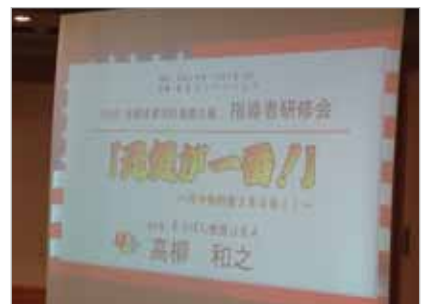
▽小学校1年の時に近所の高校生にそろばんを習ったがつまらない印象を持ったのが始まり。4年の時に自転車欲しくて親にねだったら、そろばん3級に合格したら買ってやると言われて必死で勉強。3級に合格して自転車を買ってもらって、すぐそろばんは辞めてしまった。その後、高1の時たまたま父の教室で教えていた高校生がいなくなり、代わりに教えるようにと言われ、人にやらせるのは好きだったので、教え始めたのが、そろばんの先生になるきっかけでした。生徒が20人いて一番上が2級取得者。生徒から「先生何級なの？」と聞かれた時に「3級」と答えるのが恥ずかしいので慌てて2級を取得し、高2で1級を取得しました。大学時代には、1級を受験する生徒が一人で受験するのは不安だと言うので、先生も一緒に受けてあげるという事に。生徒が合格して、先生が不合格ではかっこ悪いので懸命に練習し、全種目100点満点合格達成。その時は段位がある事を知らず、最高位の1級を全種目100点満点で合格したので、自分は日本一だと思っていました。



研修会の様子



研修会の様子



プロジェクター利用して分かり易い講演

▽大学1年の秋、学内に「珠算研究会」が有るのを知り入部。その際に1級満点合格の話をしたところ、びっくりされ、1級満点合格者が入部したと評判になりました。入部後、先輩に珠算5段・7段取得者がいると聞き、段位が有るのを知った次第です。大学3年生の時に国民珠算競技大会に出場し読上算3等に入賞。その時はそろばんでこんなに感動できるのかと思い、子供たちにもこの感動を是非伝えたいと思い、そろばんの先生になろうと決心。ところが、周りは猛反対で、そろばんは電卓に取って代われ、あと数年で終わってしまうだろうと言われたりしました。

▽そうこうしている内、23才の時、国際親善使節団の一員としてアメリカ・ロスアンゼルスに再訪した折、すでにアメリカで算盤教育の普及に熱心に取り組んでおられた鈴木功二先生に出会う。お会いした際、鈴木先生からアメリカ留学を勧められ、そろばん教室を弟に託し、アメリカへ。そこで現地の日本人学校に行きそろばんを教えました。

▽こうした紆余曲折の末、35才の時に月刊「珠算界」に連載していた文章をまとめ、「実戦珠算教室論」を出版。45才の時に月刊「サンライズ」を創刊しました。

▽2000年には珠算競技大会「クリスマスカップ」をスタート。最初は1回だけの予定でしたが、今年で既に18回を数えるに至っています。今では、大変な人気で競技大会の参加申込開始から1時間程度で定員一杯になるほどです。

▽昨年の暮れには「珠算指導50周年サプライズ祝賀会」を開催して頂き、百数十名の方が参加され、中には算盤界の大御所と言われる重鎮のかたも参加して頂き、大変な幸せを感じたもので、生前葬をやってしまった気分にもなりました。



熱心に聴講する参加者の先生方

<教室運営について>

▽そろばん教室としては、現在さいたま市に4教室、東京都内板橋に1教室を運営しています。

そろばんの恩師からは教室は1ヶ所で行えと言われてきたので、ずっと1ヶ所で運営してきましたが、頼まれて断れないなどの事情もあって今では5教室になっています。そろばんの指導にあたっているのは、私と妻、長男、親しいスタッフ数名と学生指導員若干名で生徒600名程の規模となっています。

▽生徒に言っている珠算検定は全珠連の暗算検定が主で、準初段6名・初段9名・2段14名・3段15名・4段16名・5段20名・6段14名・7段15名・8段21名・9段16名・10段が34名在籍しています。合計で180名、全員の段位を足すと1,090段になります(2016年度)。有段者のいるそろばん教室は全そろばん教室の15%程度だと思われ、有段者が1人でもいれば、優良教室、複数いれば超優良教室で取得段位を合計して2桁いけば指導力に大変優れたすごい教室だと言われています。

▽使用している教材は、初心者用として『そろっぴ』を使用。その後は「アバカスサーキットF2」で、順次上達するにつれ、「アバカスサーキットF1」「アバカスサーキットF0」と続きます。アバカスサーキットの例題は月刊「サンライズ」に掲載しておりますので、ご参照下さい。

▽使用教材の「アバカスサーキット」はかけざんのレベルでF2で150点取れるとF1へ。

F1は「2ケタ×2ケタ～4ケタ×4ケタのレベル」

F0は「4ケタ×3ケタ～6ケタ×5ケタのレベル」

暗算のケタが1ケタ上の計算をできるようになるのに、1年はかかります。例えば2年生で2ケタ×2ケタができれば、6年生までには4ケタ×4ケタができる様になり、これは10段のレベルになります。この様に、「アバカスサーキット」を使用していけば、小学生の段階で段の取得が可能だと言えます。6年生まで継続すれば生徒の9割が段位を取得しています。

▽検定試験については、塾内検定試験を毎月実施しています。3 級以上の検定は偶数月、段位検定は奇数月に行っています。「赤文鎮」(F 1 で 150 点) までにレベルが達していると小数の計算の指導をして、全珠連の暗算段位を受験させます。

<活気溢れる教室運営の為に心掛けている事など>

▽そろばんの一番の PR は習っている子をめっちゃくちゃ上手にし、習っていない生徒や保護者に羨ましがることだと思います。どれほど上手にすれば良いか？

今年3月に入室した4年生の女の子の例だと、4月に5年生に進級し9月の試験で暗算4段に合格。週1回の生徒でも10段を取得した生徒がいるなどアピール出来れば、PRになります。物事がうまくいかない時の言い訳、例えば「先生の私が段を取っていないから有段者が育たない」という人がいますが、3級しか持たない指導者でも有段者を抱えている教室は全国にいくらでもあります。また、生徒が集まらないのは「立地条件が悪い」とか「もう歳だから」という言い訳、これも理由にはなりません。愚痴や文句を言う前に行動することだと思います。**「〇〇だから出来ない」ではなく、「〇〇だけどできる」**という方針でやるべきだと思います。

▽私の息子がそろばん指導をしようと言った時、周囲から「3年以内に10段の生徒を出せ」と言われ、必死で指導し10段合格者を出しました。それを報告したら「やっとスタート地点についたね」「第2号は何時出るの」とか言われたそうです。要はこうした緊張感を持って続ければ指導のレベルは上がって来るということだと思います。

▽上手な選手・生徒を輩出している先生は、皆さん、生徒を自分の思い通りにしてしまいます。生徒を上手くさせたいという熱意があるから上手くさせてしまう。生徒が望んでいなくても無理やりやらせる。途中が無理やりでも出来る様になると生徒は絶対に面白がります。指導者と生徒の関係は指導者が絶対上に立つべきで、生徒や保護者との信頼関係をしっかり築いておくことが重要です。信頼関係があれば、生徒や保護者にどんな対応をしても受け入れてもらう事ができる。好意を持っている人の話は聞くが、好意を持っていない人の話には興味を持たない、熱意の有る人の話は聞くが、熱意を持たない人の話は聞かない。

▽自分の指導力に自信が無くても、生徒を上手にさせる方法があります。上手な生徒に教えさせることで、効果が出る事があります。その為には各種競技大会や練習会に参加させるなど場数を踏ませることが大事。上級者に触れる事で触発される事が多々あります。

▽授業中は適当にふざけて喜ばせる、笑わせたら勝ちで、楽しく学べば喜んで授業を受ける。嫌々では上達しません。また、器が出来ていないのに中身を入れようとしても全部こぼれる。まずは知識を詰め込む前に器を作ること。そろばん指導は現在の指導方法に固執せず、色々な意見を聞きながら試して見ることです。その中で、一番合う方法を取り入れれば良い訳で、食わず嫌いにしないことが肝要です。何事にも興味や関心、憧れを持ち一歩前に踏み出すことが大切です。

▽目標を達成したら、辞めるという事はおかしい。合格はゴールではなく、スタートであることに気付かせることも大事。幼児期に学んだ事は吸収も早い忘れの早い。

何時から始めるかも重要ですが、何時辞めるかも重要です。優等生は、真面目・素直・真剣・積極的で、先生も真似ると良い。首は縦に振る為についている。横に振ってばかりでは首がとれてしまう。出る杭は打たれるが、出過ぎると打たれないもの。**やるならやる！やらないのならやる！**

▽練習の時には、速く・正しく・美しく。そろばんは、速く、正しくやって、数字は美しく書くことが肝要です。また、生徒をやる気にさせるには、先生がやる気を持って指導すること。先生は常に気合いを持って指導しなくてはなりません。

▽そろばんはすごい・素晴らしい習い事ですから、習わなかった人が後悔する様になれば、これからもそろばんの未来は開いてくると思います。

以上の様に、高柳先生は明るく、活気溢れる教室にするため、様々な笑い話なども生徒に聞かせて、先ず親近感を持たせるように努めています。また、生徒や保護者からの信頼を得る事の大切さを説き、一方で教える側と教わる側との距離間を保つ事の必要性も説かれています。高柳先生の教室では、この様に明るく活気溢れる教室環境の下、生徒にやる気を起こさせて、沢山の有段者を輩出されているのだと思われます。

参加された会員の先生方は、高柳先生の講演に納得したり、感心したり、時には大笑いしながら、3時間という時間を感じせない内容で熱心に聴きっていました。

第2講「ホームページ作成について」

講師 東京都 二石 芳裕 先生



二石先生

プロフィール

本郷サイエンステクノ株式会社代表

暗算教育ソフトの開発、珠算競技大会

イベント企画、ホームページ作成等のサポートを手掛ける

第2講では、昨年度に引き続き、各支部のホームページ作成などでもご協力いただいている本郷サイエンステクノ株式会社代表の二石芳裕社長から個人会員のホームページ作成の詳しいレクチャーをして頂きました。概要は次の通りです。

▽昨年は支部にホームページを作りませんか、会員の先生個別にホームページを作りPRしませんかと提案しました。その時はガラケーを見せながら話をしました。電話で相手と話をしたい時にはガラケーは優れていますが、今では保護者の方々はスマートフォンを活用して、様々な情報を入手しているので、スマートフォンにも対応できるホームページに代えるとか、ホームページに掲載する連絡先は必ず連絡が付く番号を載せましょうなどを提案してきました。古くは固定電話がある種ステータスになっていましたが、現在では保護者や生徒にとってケイタイ（スマートフォン）の方が使い易いのが現状です。



研修会の様子



熱心にメモを取る参加者



ホームページの例

▽今日は、会員様の珠算教室を紹介するホームページ作成について提案したいと思います

保護者がそろばん教室を探す場合を想定する時、家の近くにそろばん教室があるのか？入室の仕方は？月謝は？授業のスケジュールは？検定試験は？珠算の競技大会の日程は？などなどなどの情報が先ず欲しいと考えます。そこで、ホームページを開いて調べることが出来れば、先ずその教室にコンタクトします。ホームページを開設していなければ、どこで習うか決める際に、候補にも挙がらず、生徒を逃すことになってしまうわけです。ホームページが開設されていれば、保護者がスマートフォンやパソコンでいつでもどこでも確認できるので、安心・信頼を得ることに繋がります。

＜ホームページの利点＞

- ◎ホームページに教室の詳しい情報が掲載されていれば、保護者から安心や信頼を得ることができます。
- ◎体験入学や教室見学の時は、授業内容・入学案内などあらかじめ見てから来校してくれるので、詳しい説明などに時間を使わなくて済みます。
- ◎教室の宣伝用のチラシなどホームページの内容の抜粋で、簡単に出来ます。
- ◎何よりものメリットはホームページだと 24 時間・365 日対応が可能です。
- ◎募集時期などに合せて、内容を随時更新してアピールできます。
- ◎学校連盟本部のホームページや各支部ホームページにも、教室一覧表にも会員の教室のホームページを掲載（リンク）して、さらに「入口」を広げる事ができます。

＜ホームページの構成例＞

- ◎トップページ：写真、お知らせ、生徒募集案内、体験入学案内、メッセージなど
- ◎教室紹介のページ：指導方針、授業内容、特長、検定試験概要、競技大会など
- ◎授業の様子紹介ページ：写真・動画などによる宣伝（ユーチューブ等活用）など
- ◎入学案内ページ：見学・体験学習案内、授業曜日・時間帯等、入学費用・月謝、アクセス、地図、お問い合わせ先など
- ◎お知らせページ（更新ページ）：イベント、検定試験結果、競技大会結果、お便りなど

＜ランニングコストについて＞

- ◎開設初期費用、情報更新費用などはお気軽にお問い合わせ下さい。

※更新経費は毎月 5,000 円程度必要ですが、1 人入塾すれば十分にペイできると思います。

以上のご報告の通り、今年は個人会員のホームページの開設について詳しくレクチャーしていただきました。昨年の講演以降、支部のホームページ開設や会員個人のホームページ開設の実績も増加しています。ホームページを開設したい、今のホームページをスマートフォン対応に変更したいとお考えの先生方は、本郷サイエンステクノ株式会社に相談してみても如何でしょうか。

お問い合わせは 090-5496-5890

メールアドレスは info@science-t.co.jp

（お気軽にお問い合わせくださいとのことでした。）



研修会の総括をする山中副会長

第9回指導者研修会「明日の珠算を考える会 2018」参加者名簿 (敬称略)

平成 29 年 10 月 1 日 (日)

No.	支部名	氏 名	No.	支部名	氏 名	No.	支部名	氏 名
1	(講師)	高柳 和之	41		間中 良子	81		本山 和子
2	(講師)	二石 芳裕	42		並木 幸子	82		高須 たつ子
3	北海道	山中 博詞	43		小林 順子	83		高須 由佳
4		小林 有悟	44		館野 明美	84	愛知県	大滝 徹
5	岩手県	及川 幸子	45		山中 俊明	85		古川 侃司
6		佐々木 良子	46		中島 美智子	86		鈴木 直人
7	宮城県	後藤 勝則	47	群馬県	中野 やよい	87		矢田 祥子
8	福島県	三富 邦基	48		平田 あけ美	88		村田 康代
9		三富 俊彦	49		森下 富士美	89		近藤 仁美
10		遠藤 イエ子	50	東京都	近江 稲子	90		山本 千恵子
11	栃木県	横須賀 長次	51		飯山 晶子	91		柴田 美佐子
12		横須賀 正典	52		片貝 とみ子	92		加藤 綾子
13		細野 美貴	53		長橋 厚美	93	兵庫県	蓮井 慶太郎
14		横須賀 富貴子	54		鈴木 一弘	94		澁谷 慶一
15		西川 俊治	55	長野県	白田 直子	95		長久 淑子
16		横須賀 訓子	56	石川県	木谷 哲也	96		森 利昭
17	千葉県	鈴木 啓一	57		木谷 晋也	97	山口県	山口 弘
18		鈴木 重成	58	岐阜県	立木 博	98		鬼塚 文子
19		早川 典秀	59		立木 明	99		松下 眞璃子
20		和田 紀子	60		中谷 公継	100		松下 智明
21		鈴木 幸枝	61	埼玉県	南雲 初江	101	福岡県	出井 生代
22		中島 えいこ	62		野原 命子	102	佐賀県	吉江 國雄
23		池田 彰子	63		杉村 紀子	103	香川県	北岡 美都吏
24		松尾 和子	64		渋谷 節子			
25		椿 静子	65		宇津木 ミツ	104	本 部	木股 光雄
26		青木 京子	66		菊池 和	105		木下 貞夫
27	茨城県	山中 幸二	67		新井 勉	106		吉田 由美
28		飯塚 美智子	68		武藤 嘉之			
29		竹内 かほる	69		佐藤 ミエ			
30		鈴木 広子	70		小川 幸子			
31		川崎 和江	71	神奈川県	竹中 翠			
32		澤田 舞美	72		安達 怡史子			
33		桜井 ミチエ	73		秋田 幸			
34		柏崎 多美子	74		佐々木 幸子			
35		柏崎 勘九郎	75		九石 悦子			
36		林 豊子	76		高山 和子			
37		武井 ふじ子	77		酒井 恵美子			
38		鈴木 勝恵	78		柳 千代子			
39		箱崎 喜代子	79	静岡県	沢野 基司			
40		小澤 恵子	80		大石 啓子			

第3回「新世代の会」勉強会 紙上報告

2017年10月1日（日）午前、指導者研修会に先立って、第3回「新世代の会」勉強会が開催されました。今回の新世代の会は珠算教室を全国に展開されている木谷綜合学園の副園長の木谷晋也先生による「珠算塾経営・運営・PR・後継者問題」と題して、木谷綜合学園の取組みについて発表して頂きました。連盟の会員の先生方の関心が高いテーマで、聴講を希望する先生方が多いため、60才以上の会員の先生にも参加を呼びかけ、結果的に全国各地から日頃から熱心に珠算教育に携わる先生方47名が参加。池田彰子先生の総司会で、木谷先生の発表の後、新世代の会の趣旨に沿って活発な意見交換が行われました。開催の趣旨と併せ発表会の概要や意見交換の内容などについて、以下ご報告いたします。

新世代の会開催の趣旨（目的）

これからの珠算教育のあり方や学校連盟の役割などのほか、当連盟が主催する様々な行事、検定試験に関する課題等について自由に意見交換。意見交換を通して出されたアイデア、問題提起等を学校連盟の理事会等に諮問し、具体化を検討し今後の連盟の事業活動に活かす。

「新世代の会」勉強会

「珠算塾の経営・運営・PR・後継者問題について」

発表者 木谷綜合学園副園長・新世代の会副代表木谷 晋也 先生

<木谷綜合学園概要>

▽1965年富山県射水市に開塾、学園長 木谷建一先生。

現在、富山、石川、神奈川、東京、兵庫、滋賀に合計361教室を展開し、生徒数10,600名を擁する総合学園。

▽木谷泰子先生が高校生の時に射水市新湊の自宅でそろばんを教えたのが始まり。その後、脱サラして教室運営。

創業当時そろばん先生のステータスが低く見られていた事が残念で、そろばん講師の地位向上も目指し多店舗展開。

▽支部開設は色々な要素がからんでいるが、殆どがタイミングを見計

らって開設。支部開設後、経営的に安定するためには生徒数200～300名が必要で、開塾後2～3年は我慢の時期になる。



木谷晋也先生

<組織について>

▽全国の教室は全て直営で運営、合計20の支部。支部長を信頼し運営をお任せしている。社員8名、講師・パート職員504名の陣容で組織。本部（富山県射水市）事務局にスタッフが30名で全体業務を遂行。総務・経理・検定・教材・広報・指導・工事（営繕）など業務別に人員を配置している。



司会 池田先生・開会の言葉 中島先生



新世代の会勉強会の様子



ホームページの活用



情報交換会の様子

<生徒募集（PRについて）>

▽**折り込みチラシ**：年間で 300 万枚程作成し各支部で年 2・3 回程度配布。

入学式や 2 学期の始業式に合せて校門前での手配りも一斉に実施。

一斉に配る事により木谷綜合学園は元気だと言う事をアピール。

▽**新聞広告**：北日本新聞で一面広告、「そろばん」と木谷綜合学園の認知度アップのために 30 年以上続けて掲載しており、今後もこうした新聞での広告を続けて行きたい。また、生徒が 10 段を取得した時、競技大会で優勝した時など、新聞社へ連絡、記事掲載を依頼。

▽**テレビCM**：マスコットキャラクターがフラッシュ暗算を解く CM を実施

▽**映画の試写会での特別協賛**：コナン、ドラエモン等の映画試写会など特別協賛

▽**ホームページの作成**：ホームページを見ての入塾希望が益々多くなっている。

フラッシュ暗算をクリアすると認定証がプリントアウト出来る様にしたり、各教室の位置情報が確認出来るようにグーグルマップ対応も作成中。

▽**生徒募集キャンペーン**：木谷綜合学園では 1 月・2 月の新入生が多く、年間約 3,000 名程度が入塾している。

<イベント（年間行事について）>

▽**学園旅行**（7 月に延べ 1,200 名の参加）

▽**夏合宿**（8 月中旬に 240 名で実施、全国の教室の生徒が対象。募集開始と同時に定員が埋まる人気）

▽**読上げ算読上げ技術大会**（選拔された講師による読上げ技術向上を目指す大会）、珠算競技大会の実施、講師研修会、お年玉抽選会、クリスマス会、バレンタイン等季節のイベント、地域のイベントへの参加、シニア教室の開催などなど積極的に参加



木谷綜合学園教室の様子

<教室運営について>

▽**授業時間帯**：週 3 日、月水金コース、火木土コース体制。平日は 3～5 時、土曜日は 9 時 30 分～12 時 30 分、パートの主婦の方を中心に講師をお願いしている。

▽**授業運営**：月間の全国統一授業スケジュールに沿って授業。講師の裁量は少ない。

▽**生徒管理**：出席カードを持たせ情報を網羅。上級者はカードの色が変わるので、生徒の目標にもなっている。

<教材について>

▽**幼児科**：（4 才から）50～30 級、ぱっちりコース 30～20 級、20 級コース 20～15 級、15 級コース 15～11 級、右脳開発は 20 級コースから、暗算はオリジナル教材使用、講師指導研修（3 時間×4 回研修の後、教室で実践授業 実施）

<その他>

▽**授業料の違い**：（週 3 回）富山・石川は 6,500 円、東京・神奈川は 6,900 円。

▽**無料体験について**：都心部は、入学するつもりで保護者同伴の参加が多いが、地方は遊びの延長で参加して来るケースが多い。3,000 円の有料体験講座でも参加者があり、入塾者も多くいたケース有り。今後は様々な新しい方法を検討していく必要がある。

▽**課題**：講師不足で人件費が高騰（15%ほどアップ）。在職期間の長い先生が多く、平均年齢が 65 才以上となっており、世代交代が必要と感じているところです。

これまで両親のやり方を踏襲して経営してきましたが、今後はある意味、全く発想を変えて運営を行っていきたいと考えています。兄弟ほか優秀なスタッフと共に、結束して運営し、20年後、30年後も後継者が出て、そろばん塾を継ぎたいと思ってくれる企業にしていきたいなと思っています。ご清聴有難うございました。

この後、新世代の会の会員から会員ご自身の珠算教室の概要や活動内容、これからの課題など、活発な意見が出され、貴重な情報交換の場となりました。

参加者名簿

No.	支部名	氏 名	会員・役職	N0.	支部名	氏 名	会員・役職
1	北海道	山中 博詞	常任理事	26	長野県	臼田 直子	会員
2		小林 有悟	会員	27	石川県	木谷 哲也	会員
3	福島県	三富 邦基	常任理事	28		木谷 晋也	新世代副代表
4		三富 俊彦	会員	29	岐阜県	立木 博	常任理事
5	栃木県	横須賀 長次	副会長	30		立木 明	会員
6		横須賀 正典	会員	31		中谷 公継	会員
7		細野 美貴	会員	32	神奈川県	竹中 翠	理事
8		横須賀 訓子	会員	33		秋田 幸	会員
9	千葉県	鈴木 啓一	監事	34		佐々木 幸子	会員
10		鈴木 重成	会員	35		九石 悦子	会員
11		和田 紀子	会員	36		酒井 恵美子	会員
12		中島 えいこ	会員	37		榊 千代子	会員
13		池田 彰子	会員	38	愛知県	大滝 徹	常任理事
14	茨城県	山中 幸二	会長	39		古川 侃司	監事
15		川崎 和江	会員	40	兵庫県	蓮井 慶太郎	常任理事
16		澤田 舞美	会員	41		澁谷 慶一	会員
17		柏崎 多美子	会員	42		長久 淑子	会員
18		柏崎 勘九郎	会員	43		森 利昭	会員
19		林 豊子	会員	44	山口県	山口 弘	支部長
20		武井 ふじ子	会員	45		鬼塚 文子	会員
21		鈴木 勝恵	会員	46		松下 智明	外
22		小澤 恵子	会員	47	香川県	北岡 美都吏	会員
23		山中 俊明	会員	48			
24	群馬県	森下 富士美	会員	49			
25	東京都	鈴木 一弘	会員	50			

平成 29 年度 第 2 回全国珠算教育団体連合会代表者会議の報告

平成 29 年 11 月 12 日（日）、東京駅前丸ビル（8F Room 3）に於いて、今年度第 2 回目の代表者会議が開催されましたので、当連盟の活動に関連する部分の内容について以下ご報告します。



代表者会議出席者



挨拶する横須賀副会長



会議の模様

出席者

- （公社）全国珠算教育連盟：平上一孝理事長、岡久泰大副理事長、工藤壽和副理事長、
谷賢治専門委員会委員長、小原光治専門委員、高橋房雄局長、安達由美子事務局員
（公社）全国珠算学校連盟：横須賀長次副会長、山中博詞副会長、中島えいこ専門委員、
木股光雄事務局長
（一社）日本珠算連盟：益田明理事長、上川祐司副理事長、大貝敏次連合委員長、
藤井将男専門委員、會本尚専務理事

1. 会長挨拶（平上一孝先生が全珠連の理事長就任に伴い連合会の会長職に就任）

次期学習指導要領は珠算教育は現状維持。10 年後には第 2 学年への導入を目指して引き続き活動を続けたい。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて「そろばん」を世界にアピールする P R 活動など検討したい。

2. 審議事項

（1）平成 29 年度事業について

ア. ホームページの更新について（HP 検討委員会報告）

上川委員長より、連合会 H P へのアクセス数（5/1 ～ 10/31）など経過報告。

イ. 東京・武蔵野大学「そろばん講座」への講師派遣について

平成 29 年 12 月 6 日（水）18:00 予定。講師は中島えいこ専門委員
教育学部生約 140 名を対象

ウ、「小学校のそろばん学習 vol.6」について

(谷専門委員長より報告)

H29.8月発行、3団体事務局へ発送。団体事務局より会員へ発送手配。発行部数は前年と同様、各団体からの必要部数に基づき発送。

(計 18,000 部) ボランティア授業出講等で活用していただく。



(2) 平成 29 年度「たのしいそろばん」の利用状況について

平成 29 年 10 月 31 日現在 児童用 357,930 冊、教師用 20,120 冊を配布。どちらも前年度より微減。今後の対応など意見交換。

(3) 第 7 回世界珠算暗算競技大会について

平成 30 年夏・インドネシアのジャカルタにて開催予定。

3 団体から代表選手を選出して、派遣する。引率のコーチについては、各団体持ち回りとし、平成 30 年第 7 回大会は日珠連から派遣する。

(4) 教科書会社担当者との懇談会について：

平成 30 年 5 月以降、東京で開催する。教科書会社 6 社と珠算連合会 3 団体代表及び専門委員長が対応。

(5) 平成 30 年度の活動方針について

事業計画(案)と仮予算(案)を基に検討と確認。なお、臨時的な事業については、適宜対応する。

(6) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての珠算 PR について

既に検討中の団体もあるとの情報などあり、今後各団体の企画案を収集し、連合会としては一本化して活動する。

(7) 公益社団法人全国学習塾協会からの申し出について意見交換

現状では珠算連合会としては、一定の距離を保って対応する。12 月 5 日に開催される民間教育団体顔合せ会には各団体の代表者が出席する。

(8) 平成 29 年度活動報告について

連合会の活動報告の後、各団体から活動報告。主な連合会の活動は次の通り。

5 月 14 日	第 1 回代表者会議(東京)
6 月 2 日 ～ 7 月 4 日	小学校副教材「たのしいそろばん」に関する業務など 専門委員会(東京)(中島委員出席)
8 月	「小学校のそろばん学習 vol.6」発行
8 月 3 日	第 3 次安倍内閣発足(林芳正文科大臣へ就任祝い発信)
10 月 6 日	衆議院議員選挙候補者推薦状など対応(私学を考える会所属議員など)
11 月 12 日	第 2 回代表者会議(東京)

(9) その他：次回代表者会議の日程：平成 30 年 5 月 13 日(日)(東京)

－平成29年度第2回珠算連合代表者会議－
[資料 No. 2]

平成29年度「たのしいそろばん」申込一覧表

平成29年10月31日現在

都道府県	児童用			教師用			平成28年度 ボランティア実施校数
	平成29年度	平成28年度末	増 減	平成29年度	平成28年度末	増 減	
北海道	20,340	20,250	90	1,210	1,210	0	2
青森			0			0	13
岩手		30	△ 30		10	△ 10	0
宮城			0			0	26
秋田			0			0	40
山形	500	1,550	△ 1,050	50	90	△ 40	46
福島	1,000	1,000	0		100	△ 100	81
新潟		4,320	△ 4,320		160	△ 160	33
茨城	2,200	1,800	400	100	100	0	168
栃木		350	△ 350		30	△ 30	207
群馬	17,000	17,000	0	700	700	0	251
埼玉		1,320	△ 1,320		70	△ 70	87
千葉	5,410	8,180	△ 2,770	150	240	△ 90	73
東京都	104,200	104,000	200	7,140	7,100	40	538
神奈川			0			0	316
富山	1,000	2,000	△ 1,000			0	35
石川	7,200	11,780	△ 4,580	400	840	△ 440	54
福井	4,500	4,950	△ 450	250	250	0	35
山梨			0			0	2
長野			0			0	3
岐阜	15,340	20,400	△ 5,060	1,210	1,200	10	12
静岡	21,990	25,320	△ 3,330	1,100	1,310	△ 210	11
愛知	35,000	35,600	△ 600	1,300	1,250	50	258
三重	9,800	8,100	1,700	810	740	70	3
滋賀	1,000	600	400		10	△ 10	19
京都	8,000	7,600	400	700	360	340	77
大阪	33,000	23,500	9,500	2,000	2,500	△ 500	158
兵庫	7,000	8,040	△ 1,040		50	△ 50	123
奈良			0			0	24
和歌山	2,200	1,760	440	90	80	10	34
鳥取	1,000	1,300	△ 300	40	50	△ 10	20
島根	2,250	2,010	240	110	100	10	25
岡山	3,450	7,690	△ 4,240	150	550	△ 400	125
広島	18,800	18,800	0	1,100	660	440	257
山口	500		500			0	2
徳島		100	△ 100			0	2
香川			0			0	10
愛媛	6,350	6,950	△ 600	410	450	△ 40	0
高知			0			0	1
福岡		200	△ 200		10	△ 10	8
佐賀	2,500	3,000	△ 500		90	△ 90	51
長崎	5,000	4,700	300	400	300	100	8
熊本			0			0	10
大分	5,100	4,500	600	200	310	△ 110	53
宮崎		1,300	△ 1,300		30	△ 30	14
鹿児島	7,000	8,500	△ 1,500		1,000	△ 1,000	2
沖縄	9,000	11,120	△ 2,120	500	500	0	116
全珠学連		10	△ 10			0	
日珠連	300		300			0	
全珠連			0			0	
合 計	357,930	379,630	△ 21,700	20,120	22,450	△ 2,330	3,433

平成 29 年度 中間決算（監査）の報告

平成 29 年 11 月 19 日（日）に本部事務局におきまして 29 年度中間決算監査が行われましたので、上半期の財務状況（貸借対照表、正味財産増減計算書など）について、以下ご報告いたします。

法人名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

貸借対照表

平成 29 年 9 月 30 日 現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	85,942,818	86,439,888	△ 497,070
その他流動資産	20,000	0	20,000
流動資産合計	85,962,818	86,439,888	△ 477,070
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	54,716,920	54,716,920	0
基本金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	57,716,920	57,716,920	0
(2) 特定資産			
慶弔引当資産	2,738,000	2,738,000	0
生徒安全会基金	15,971,956	15,971,956	0
珠算振興事業基金	30,000,000	21,766,566	8,233,434
会館資産取得資金	121,885	0	121,885
特定資産合計	48,831,841	40,476,522	8,355,319
(3) その他固定資産			
建物	20,521,295	21,285,890	△ 764,595
什器備品	198,665	289,599	△ 90,934
その他固定資産合計	20,719,960	21,575,489	△ 855,529
固定資産合計	127,268,721	119,768,931	7,499,790
資産合計	213,231,539	206,208,819	7,022,720
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	62,140	115,400	△ 53,260
仮受金	360	3,000	△ 2,640
流動負債合計	62,500	118,400	△ 55,900
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	62,500	118,400	△ 55,900
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	213,169,039	206,090,419	7,078,620
(うち特定資産への充当額)	(57,716,920)	(57,716,920)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(48,831,841)	(40,476,522)	(8,355,319)
正味財産合計	213,169,039	206,090,419	7,078,620
負債及び正味財産合計	213,231,539	206,208,819	7,022,720

法人名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日 から平成 29年 9月 30日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	23,899	9,774	14,125
受取入会金			
受取入会金	115,000	105,000	10,000
受取会費			0
会員受取会費	7,000,000	6,990,000	10,000
事業収益			
生徒安全会収入	19,500	13,000	6,500
検定収入	68,762,600	67,297,000	1,465,600
教育認定収入			
事業収益計	68,782,100	67,310,000	1,472,100
受取負担金			
受取負担金	2,194,000	2,090,000	104,000
雑収益			
受取利息	36	503	△ 467
雑収益	430,440	475,350	△ 44,910
雑収益計	430,476	475,853	△ 45,377
経常収益計	78,545,475	76,980,627	1,564,848
(2) 経常費用			0
事業費			0
(事) 給料手当	4,771,685	4,591,045	180,640
(事) 役員報酬	3,305,025	3,135,000	170,025
(事) 福利厚生費	1,193,316	1,284,650	△ 91,334
(事) 旅費交通費	3,095,793	2,456,299	639,494
(事) 通信運搬費	894,418	941,508	△ 47,090
(事) 消耗品費	823,224	701,653	121,571
(事) 印刷製本費	5,187,151	5,977,137	△ 789,986
(事) 光熱水料費	373,905	355,488	18,417
(事) 賃借料	461,400	1,319,954	△ 858,554
(事) 諸謝金	373,411	340,000	33,411
(事) 租税公課	1,366,132	1,518,295	△ 152,163
(事) 支払負担金	1,700,000	1,900,000	△ 200,000
(事) 委託費	84,888	100,980	△ 16,092
(事) 作間関係費	568,620	409,860	158,760
(事) 会議費	235,209	142,575	92,634
(事) 旅費	5,193,030	6,298,142	△ 1,105,112
(事) 支払給付金	21,000	24,000	△ 3,000
(事) 建物管理費	177,822	258,741	△ 80,919
(事) 会場費等	38,391,840	37,326,110	1,065,730
(事) 雑費	1,450,325	1,495,535	△ 45,210
事業費計	69,668,194	70,576,972	△ 908,778
管理費			0
(管) 役員報酬	267,975	839,000	△ 571,025
(管) 給料手当	437,578	411,955	25,623
(管) 福利厚生費	88,647	95,242	△ 6,595
(管) 会議費	1,303,489	1,342,686	△ 39,197
(管) 旅費交通費	77,287	63,789	13,498
(管) 通信運搬費	37,925	47,575	△ 9,650
(管) 消耗品費	12,929	6,614	6,315
(管) 印刷製本費	274,000	378,112	△ 104,112
(管) 光熱水料費	30,317	28,823	1,494
(管) 賃借料	409,960	147,096	262,864
(管) 保険料	163,440	0	163,440
(管) 諸謝金	152,000	128,000	24,000
(管) 租税公課	110,768	123,105	△ 12,337
(管) 旅費	421,056	510,660	△ 89,604
(管) 渉外費	100,000	203,960	△ 103,960
(管) 建物管理費	14,418	20,979	△ 6,561
(管) 雑費	84,395	103,487	△ 19,092
管理費計	3,986,184	4,451,083	△ 464,899
経常費用計	73,654,378	75,028,055	△ 1,373,677
評価損益等調整前当期経常増減額	4,891,097	1,952,572	2,938,525
当期経常増減額	4,891,097	1,952,572	2,938,525
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	4,891,097	1,952,572	2,938,525
当期一般正味財産増減額	4,891,097	1,952,572	2,938,525
一般正味財産期首残高	208,277,942	204,137,847	4,140,095
一般正味財産期末残高	213,169,039	206,090,419	7,078,620
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	213,169,039	206,090,419	7,078,620

モンゴル便り

モンゴル・ウランバートルで11月12日（日）に開催された第8回「モンゴルそろばんオリンピック」に招かれたの、熱戦などその様子を以下ご報告いたします。

今回はモンゴル・日本国交 45 周年記念イベントの一環として開かれ、首都ウランバートル及び周辺の都市から 351 名の生徒が参加するまさにモンゴル全国大会とも言える競技大会となり、開会式には、日本からの山中会長のほか、在モンゴル日本大使館の菊池公使が出席されご挨拶をされました。（会長 山中 幸二）

第8回モンゴル国 算盤オリンピック 2017年11月12日（日）モンゴル国 ウランバートル



算盤オリンピック 競技大会風景（350名の参加者）
ウランバートル コルペレートホテル



競技大会賞状



個人総合・種目別競技 入賞者の表彰



競技大会役員の先生方



文科省の方・山中・在モンゴル日本国大使館の方

答 案 審 査 会 の 報 告

これまでも会報等でご報告しております様に、公益法人移行から毎回の検定試験の後3週間内に本部検定委員による答案審査会が実施されているところですが、本部への答案回収につきましては会員の先生方の格別なご協力有難うございます。平成29年度9月・10月の検定試験を対象に実施された審査会の結果と「採点時の注意事項」として改善をお願いしたい事項と共にご報告致しますので、ご協力の程、宜しく申し上げます。

平成29年度 第5回答案審査会報告書

平成29年度第5回検定試験答案審査会を行いましたので、その結果について、以下ご報告します。

1. 日時：平成29年10月11日（水）10:30～12:30
 2. 場所：本部事務局
 3. 審査対象検定試験：9月24日施行の珠算・暗算検定試験
 4. 審査員：検定委員（執行部役員）3名（南雲検定委員長、立木総務委員長、大滝学経対委員長）
 5. 審査対象支部：前回に続き受験者数の多い支部と少ない支部から、合計6支部を抽出
答案を抜き取って検査。他に、種目別及び総合10段合格の答案の審査。
 6. 審査結果：（特記事項など）
 - ・最初に10段合格者（総合3名、種目別43名〔延べ人数〕合計46名）の答案を再審査。
珠算（総合10段1名、種目別10段合格10名）、暗算（総合10段合格2名、種目別10段合格33名）の内、暗算総合10段合格者の見取暗算で明らかな誤答に（○）の答案あり、（×）とし総合10段取り消して不合格とした。種目別見取暗算10段合格者の答案について、高速の数字の書き方が不備で、全く判読できない答えが1問あり（他にも判読が難しい数字あり）、これを（×）とし10段不合格とした。該当支部へ総合10段・見取暗算10段不合格の連絡。生徒へも支部経由その旨連絡依頼。
 - ・他の珠算総合10段、種目別10段合格の答案は問題なし。以上の結果を、支部長経由教場責任者へ連絡。
 - ・見取暗算の答案で、訂正後の答を欄外への記入する際、矢印・番号無し答案に（○）と採点した答案あり。本来は（×）。
 - ・単純な採点ミスが数ヶ所の教場であった。（○）の答を（×）、（×）の答を（○）と採点。（3支部）
 - ・「消しゴム」を使用している答案がまだ散見された。（珠算3級の答案）
消しゴム使用不可の徹底をお願いする。
 - ・ある支部については、概ね適切に採点されており、不備はなかった。
- 以上、「第5回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ答案採点注意事項として、会報などを通じてお知らせとご協力をお願いする。

- ・段位検定試験など高速で書こうとするため数字が判読出来ない答案が多く見られる。
※高速で書く場合でも、数字は正確に丁寧に書くよう指導をお願いする。数字が判読できない場合は×にし、生徒へ厳しく注意・指導をお願いしたい。
- ・単純な採点ミスが見受けられるので、特に2審では慎重に採点し、ミスを見つけて欲しい。
- ・本部への答案送付の際は、答案用紙と検定試験成績表兼証書授与台帳を必ず添付する。

平成29年度 第6回答案審査会報告書

平成29年度第6回答案審査会を行いましたので、その結果についてご報告いたします。

1. 日時：平成29年11月1日（水）10:30～12:40
2. 場所：本部事務局
3. 審査対象検定試験：平成29年10月15日施行の第69回算数能力検定試験
4. 審査員：執行部役員3名（南雲検定委員長、立本総務委員長、大滝学経対委員長）
5. 審査対象支部：前回に引き続き受験者数の多い支部から3支部、少ない支部から3支部をピックアップして答案審査。
6. 審査結果：（特記事項など）
 - ・式の欄に「 $520-216=$ 」と記入し（○）の答案あり。本来（×）。式の欄に「 $=$ 」まで書いた時は必ず答の数字まで記入する事。
 - ＜式の欄記入例別（正）・（誤）＞
 - ◆ $521-216$ （○）正
 - ◆ $521-216=$ （×）誤
 - ◆ $521-216=305$ （○）正
 - ・明らかな誤答（ $680 \div 5 = 160$ ）を（○）と採点している。また、答の欄に答の数字
 - ・単位が記入されていない答案を（○）としているケースあり。
 - ・「単位」を記入していない答が（○）になっている答案あり。
何本できて、何L残りますかという問題の答の欄に「1L残る」とだけ記入している答に（○）の答案あり。
 - ・単純な採点ミスや点数の集計ミスが数多く見受けられた。（5支部）
 - ・答案用紙に合格級が記入されていない、受験者台帳に判定（級）が記入されていないものが見られた。
 - ・算数検定の採点の場合は、正答をしっかりと確認の上、採点すること。特に2審では細心の注意を払って採点及び点数の集計するようお願いしたい。

以上、「第6回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ算数検定答案採点注意事項として会報などを通して通知することとする。

- ・式の欄に「 $=$ 」（イコール）まで記入した場合は、必ず答えの数字も記入すること。
- ・算数検定の採点の場合は、正しい答をしっかりと確認の上、採点すること。特に2審では細心の注意を払って採点及び点数の集計するようお願いしたい。



本部での審査の様子

算数能力検定調査報告(珠算能力と算数能力の相関関係などについて調査)

現在、算数能力検定の作問を担当して頂いている啓林館さんに算数検定の答案の分析をお願いし、この程過去2年間の算数検定の調査結果が出ましたので、以下ご報告いたします。

◆算数能力検定問題の趣旨：

- ① 珠算学習で培っている計算力、集中力や数理感覚などを試す。
- ② 取り扱う内容は、概ね知識・技能を問う基礎的な問題とする。また、地域による差が出ないように配慮し、ふだん学習している教科書の内容から大きく逸脱した問題は扱わない。

◆調査の目的：

児童の算数能力を調べると同時に珠算能力と算数能力の相関関係について調べる

◆調査対象・調査事項：

- ① 平成27年10月～29年6月までの計6回の検定の結果を集約（延べ受験者33,824人）
- ② 各学年・問題ごとと正答率調査／正答率の悪い問題の誤答の傾向を調査
- ③ 珠算検定の段・級取得別得点（平均点）の差を調査
※珠算級記入者を学年毎に人数で上位と下位に分け、さらに珠算級無記入者と合わせて3つのグループで調査（例：上位グループ＝段～3級取得者と下位グループ＝4級～10級）

◆調査結果：

- ① 各回通して、全学年とも珠算上位級の児童が高い得点（平均点）を取っている。
1年＝△0.7～3点（上位級の児童の得点（平均点）がうわまわった点数）、
2年＝2.2～5点、3年＝3.2～7.5点、4年＝6.5～11.5点、5年＝7.9～12.1点
6年＝6.6～11.5点
※1年生の場合、珠算初心者が多いためか、点差はあまり開いていないが、珠算上位級取得の児童が高い得点を取る傾向は、学年が高くなるにつれてより顕著になっている。
※珠算級無記入の児童は、低学年ほど珠算下位グループよりも平均得点が高い傾向があり、概ね珠算初心者と判断される。
（珠算経験を積むにしたがって、算数能力が高まっていることが推測される。）
- ② 個々の問題についても、数と計算の領域に限らず、概ね珠算上位の児童は高い得点を取っている。また、平均正答率の低い問題（難易度が高い問題）ほど、珠算上位グループと下位グループの差が大きい。

◆今後の提案：

- ① 毎回の検定で間違いが多い問題（正答率Worst 5などの問題）と誤答例をピックアップの上、会員の先生方にフィードバックし、各教室でそれらの問題の解説や補修授業の役に立てられる様にしてはどうか。
- ② 更に、珠算未経験の児童を明記して頂き、珠算経験者との算数能力の差を調査してはどうか。

以上の調査結果をご参考にして頂き、「珠算学習を続ければ、算数能力も高くなる」ことなどを保護者へアピールすることが出来れば、珠算塾に入塾する生徒や算数検定を受験する生徒の増加につながるのではないかと期待します。

岩手県支部便り

岩手県支部の第一珠算学校に通っている吉川光希君が平成 29 年 9 月検定での念願の暗算・珠算ダブル 10 段合格の快挙！！新聞社へ連絡したところ、平成 29 年 11 月 3 日(金・祝)の朝刊に吉川君取材の記事が掲載されましたので、ご報告します。

(岩手県支部長 及川 寛)

(岩手日日新聞 11 月 3 日朝刊)

念願のダブル10段達成

【北上】第 珠算学
校江釣子教室所属の吉
川光希君（北上市立江
釣子中学校一年）は、
全国珠算学校連盟の珠
算段位検定試験で10段
に合格した。既に同連
盟の暗算検定10段も合
格しており、珠算と暗
算ダブルで最高位を確
めた。「両方（珠算、暗
算）10段は入った頃か
らの目標だった。取れ
てうれしい」と喜びを
かみしめている。

吉川君 (江釣子₁ 中年) が珠算合格

7回目の挑戦で快拳



全国珠算学校連盟の検定試験で最高位の珠算10段に合格した
吉川君

検定で満点を取った種目は10段として認定され、これまでに除算、伝票算、尻取算をクリアした。

スピードよりも正確性重視で丁寧にはじくようにした。本番では集中できたという結果、見事満点を手にした。

5冠を達成するなど難かしい成績を残しているが、珠算10段取得には7回を要した。

フーミスのフレッ

る。小学校当時に比べ練習時間は取れなくなつたが、短い時間でより集中するようになったという。

練習では苦手としていた残る乗算に重点を置いた。「練習で満点を取れていても本番で数問間違えていたので、

5年生で暗算10段に
合格。6年生で全日本
大会の読上算競技小学
生の部で優勝し、県選
手権大会では新記録の

シャーもあり、暗算に比べ桁数も大きく難しかった。小学生のうちに取りたかったが、少し時間がかかった」と

暗算、珠算のダブル
10段は同連盟支部、
第一珠算学校とも3人
目の快挙。同校の谷船
敏達也競技部長は「珠

率直に語る。苦労した
だけに、喜びもひとし
おのようだ。

算10段はなかなか取れないだけに、指導者としてもうれしい。9段取得後大きく成長した。勉強とクラブ活動で大変な中、頑張ってきただけに素直におめでとうと言いたい」と目を細める。

吉川君の次の目標は、今月12日の県珠算振興選手権大会。「中学校の部で優勝したい」と意気込みを話している。

石川県支部便り

石川県支部の木谷綜合学園に通っている北村のぞみさんが、障害を乗り越えて足掛け15年でこの程、難関の全国珠算技能検定試験1級に見事合格。地元で話題となり、新聞社が取材に訪れ、北村さんの努力の足跡やこれからの抱負などの取材記事が北陸中日新聞の10月15日の朝刊に掲載されましたのでご報告いたします。

(石川県支部 木谷綜合学園 副園長 木谷晋也)

(北陸中日新聞 10月15日朝刊)

23476号 (昭和7年3月25日第1回開校以来)

北 陸 中

射水の北村さん 珠算1級

そろばん教室の木谷綜合学園(富山県射水市)に通う北村のぞみさん(25)＝同市宮袋＝が、珠算技能検定1級に合格した。そろばんを始めてから足かけ15年。北村さんには知的障害があり、特性でもある「こだわりの強い性格」が粘り強い努力を可能にした。「三段を目指し、いつかは指導者になりたい」と歩みを続けている。(山本拓海)

知的障害「こだわり」で合格

小学五年生のとき、地元にある珠算教室の体験で面白さを感じ、講師の佐々木佐智子さん(58)の指導を受け始めた。週三回教室に通い、「解けない問題は今日中に解きたい」と、毎回時間いっぱいまでそろばんをはじいた。高校卒業後は同県高岡市内の作業所で働き、作業所近くで佐々木さんが指導するもう一つの教室にも通い始めた。

「こだわりの強い性格は、染色体の一部の異常により発症するとされる「フラグリー・ウィリ症候群」によるものだという。学校の宿習学習の荷造りでは、タオルの角と角をぴったり合わせて畳むなど一日がかり。制限時間のある検定試験でも

「何度落ちたか分からない」と苦笑いする。でも、辞めたいと思ったことは一度もない。「二つずつ級を上げていくのが自分に合っていた」からだ。二つの教室で通六回、休まずに通う。一級合格は五年がかり、十二回目の挑戦で成功した。北村さんは「何が何でも合格したかった」とうれしそうに語る。

母親の三代さん(81)は「一級なんて考えもしなかった。地元のそろばん教室に通うことで町でも声を掛けてもらえる」と感謝。十五年間指導している佐々木さんは「粘って頑張れば結果を出せる証明になった。のんちゃん(のぞみ)は、みんなの目標だよ」と優しいまなざしを向けていた。

珠算1級に合格した北村のぞみさんと、優しいまなざしを向ける講師の佐々木佐智子さん(富山県射水市松本で(一)福西俊理)



《編 集 後 記》

▽新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、良いお年をお迎えのことと存じます。昨年は、当連盟の事業活動に對しまして、先生方の格別なるご理解とご協力を頂き、全日本珠算技能競技大会はじめ各種行事等も滞りなく成功裡に実施すること事が出来ました。この場をお借りして、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

会報に掲載されています平成 29 年度中間決算でもご報告しております様に、山中会長をはじめ執行部の先生方の経費削減のための努力や、会員の皆様方の検定試験受験者確保へのご協力のお蔭で、今年度も昨年と同程度の収支差(収益)が計上できる見通しとなっております。平成 29 年度の主要行事も残りわずかですが、新年度に向けて、学校連盟の益々の発展のために、連盟への積極的なご意見・ご希望などを本部事務局までお寄せ頂けたら幸いに存じます。

本年も、何卒よろしくご指導の程を、お願いいたします。

(広報委員長 蓮井慶太郎)

▽新年、あけましておめでとうございます。山中会長のリーダーシップの下、昨年は主要行事「珠算技能競技大会」、「集合研修会」、「指導者研修会」等々が滞りなく施行され、事務局一同ほっと一息ですが、会員の先生方のご協力に心より感謝申し上げます。

取り分け、昨年 2 月の内閣府による本部立入検査に際しては、公益法人としての連盟の運営状況や公益事業の根幹である検定試験の実施状況など、突っ込んだ質問も受けましたが、幸い検定事業をはじめ各種事業活動について適正に運営されているとの評価を受け、執行部の役員の先生方はじめ事務局一同、諸先生方的一方ならぬご協力に感謝申し上げます。

本年も事務局一同、気持ちを新たに諸事業の遂行に全力であたって参ります。先生方にとり、本年も実り多い年となります様、お祈りいたします。

(本部事務局 木股)

会 報 第 275 号

発行日 平成 30 年 1 月 1 日

発行所 公益社団法人 全国珠算学校連盟

〒 464-0850 名古屋市千種区今池 3 丁目 1-3

TEL (052) 732-5051

FAX (052) 733-5413

<http://shuzan-gakko.com/>

E-mail : info@shuzan-gakko.com

発行人 会 長 山 中 幸 二

編集人 広報委員長 蓮 井 慶太郎

